

岩手県沿岸北部を震源とする地震について

平成20年7月24日（16:00）現在
官邸対策室

1. 地震の概要（気象庁）

- (1) 発生日時 平成20年7月24日 0時26分頃
- (2) 震央地名 岩手県沿岸北部（北緯39度43.9分、東経141度38.1分）
- (3) 震源の深さ 108km
- (4) 規模 マグニチュード6.8（暫定）
- (5) 各地の震度（震度5強以上）
- 震度6強 岩手県洋野町
- 震度6弱 岩手県野田村、
青森県八戸市、五戸町、階上町（はしかみちょう）
- 震度5強 岩手県宮古市、久慈市、山田町、普代村、大船渡市、釜石市、大槌町、
二戸市、一戸町、八幡平市、軽米町、北上市、一関市、平泉町、
奥州市、遠野市宮守町
青森県東北町、青森南部町、東通村
宮城県気仙沼市、涌谷町、栗原市、宮城美里町、大崎市、石巻市
- (6) 津波 この地震による津波の心配なし
- (7) 余震情報（15:00気象庁）
- 震度1以上を観測した余震は1回（最大余震：発生時刻11時28分、震度3、マグニチュード5.0（推定））
- (8) 気象状況（15:00気象庁）
- 24日は、青森県は曇りで所により夜のはじめ頃まで雨、岩手県では曇り夕方一時雨の見込み。最高気温は27度から29度。青森県、岩手県では25日にかけて濃い霧が発生する所がある見込み。

2. 被害状況（未確認情報を含む）

- (1) 人的被害（15:25消防庁）
- 負傷者（116名（うち重傷26））
- 北海道（1名（同1））、青森県（51名（同13））、岩手県（48名（同8））、
宮城県（11名（同2））、秋田県（2名）、山形県（1名（同1））、
福島県（1名（同1））、千葉県（1名）
- (2) 避難状況（10:00消防庁）
- 現時点で自宅へ戻っている（10:00消防庁）
- (3) 建築物被害（15:00警察庁）

一部損壊（30戸）：岩手県（17戸）青森県（10戸）、宮城県（3戸）

非住家：岩手県（8戸）

火災（2戸）：青森県（1戸）、宮城県（1戸）一鎮火（消防庁15：25）

（4）山崖崩れ（12：30警察庁）

6件：岩手県（2件）、青森県（4件）

（5）学校等の物的被害（14：00文科省）

青森県：10件、岩手県：83件、宮城県：7件、秋田県：5件 計105件

主な被害状況：ガラス破損、壁亀裂、天井材の一部落下等

（6）社会福祉施設（10：30厚労省）

青森県：7施設（建物に亀裂等）、岩手県：10施設（建物に亀裂等）

（7）交通

・道路（13：30国交省）

・高速道路・有料道路とも規制解除

・国管理国道 通行止め、通行規制なし

・県管理国道

全面通行止め：国道102号（2箇所）、国道342号（迂回路林道）

・都道府県道

全面通行止め：岩泉平井賀普代線（2箇所）、安家玉川線

片側交互通行：土淵達曾部線、三沢十和田線

・鉄道（15：30国交省）

脱線なし、点検中：8路線

（8）ライフライン等の状況

・原子力施設（12：00原子力安全・保安院）

（東北電力）東通原発 点検終了・異常なし（運転中）

女川原発 点検終了・異常なし 2・3号機運転中（1号機は定期検査中）※点検終了後、サービス建屋1F（管理区域内）で少量の水たまりを発見。放射能量は検出限界値以下。原因調査中。

（東京電力）福島第一原発 1～6号機 点検終了・異常なし（運転継続中）

福島第二原発 1～4号機 点検終了・異常なし（運転継続中）

日本原燃六ヶ所再処理施設（青森県六ヶ所村）点検終了・異常なし（試験運転中）

・停電（原子力安全・保安院）

6：39 全面復旧

・ガス（15：30経産省）

都市ガス：八戸市 ガス漏れ6件（うち2件は既に修繕完了、4件が応急処置済み）、

仙台市 ガス漏れ2件（1件は対応済み。1件は応急処置済み）

奥州市 ガス漏れ1件（対応済み）

簡易ガス：八戸市 ガス漏れ 1件（修繕中）
L P ガス：久慈市 ガス漏れ 1件（対応済み）
一関市 ガス漏れ 1件（対応済み）
・水道（13：30 厚労省）
岩手県遠野市：断水 8戸
・通信（10：00 総務省）
携帯：すべて復旧

3. 政府の主な対応

- ・ 0：34 官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
- ・ 0：34 内閣府災害対策室設置
- ・ 0：35 総理指示
「被災状況の早期把握と迅速な広報及び被災者等ある場合、救助に全力を挙げる。」
- ・ 1：20 緊急参集チーム確認事項
 1. 岩手県沿岸北部を震源とする地震について、被災者の速やかな救出・救助活動に全力を尽くす。
 2. 県や市町村との連絡調整及び情報収集を密接に行い、被害情報の収集に全力を挙げる。
 3. 広域に及ぶ被害が確認されたならば、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊、自衛隊の災害派遣による被災地への広域応援を行い、必要に応じ増援し、被害の状況に応じて万全の体制を期する。
 4. 引き続き、県や市町村との的確な連携を図りながら、政府一体となって適切に対応する。
- ・ 政府調査団の派遣
 - 3：43 政府調査団（28名）が岩手県及び青森県に向けて市ヶ谷出発（CH—47（ヘリ：入間基地まで））
 - 4：28 岩手県に向け入間基地発（C—1（固定翼）に乗り換える）
 - 5：13 松島基地（宮城県）着
 - 6：53 松島基地離陸
 - 7：31 三沢基地（青森県）着
 - 7：45 三沢基地発
 - 8：10 岩手県洋野町役場 着
 - 8：58 泉防災大臣が総理へ電話報告
 - 9：30 岩手県洋野町役場 発
 - 10：30 青森県階上町栽培漁業センター 着
 - 10：45 青森県階上町栽培漁業センター 発
 - 11：43 青森県八戸市役所 着
 - 13：00 青森県八戸市 発
 - 13：15 八戸基地 発
 - 14：21 入間基地 着

14:38 入間基地 発

14:52 防衛省A棟ヘリポート 着

・岩手県

0:26 災害対策本部設置

4. 各省庁の活動状況

(1) 警察庁

- ・0:34 災害警備本部設置
- ・警察広域緊急援助隊派遣 (12:00 警察庁)
派遣: 東北管区4県(宮城、秋田、山形、福島)
- ・7:11 警視庁ヘリ岩手到着
- ・7:40 新潟県警ヘリ岩手到着
- ・機動警察通信隊等計11名派遣(東北管区、秋田、福島、山形)
- ・岩手県警察にあたっては、広域緊急援助隊(宮城、福島)の応援をえて、宮古市内において被災状況の確認活動中
- ・青森県警察にあたっては、広域緊急援助隊(秋田、山形)の応援をえて、八戸市及び十和田市内において被災状況の確認活動中。
- ・被災地における活動警察官数(12:30現在) 約5000名(うち広緊隊158名)
- ・警察ヘリコプターの活動機数(12:30現在) 計 5機

(2) 防衛省

- ・0:34 災害対策室設置
- ・0:45 岩手県知事から9特連隊へ災害派遣要請あり
- ・0:50 F15百里基地離陸
- ・2:45 青森県知事から9師団に災害派遣要請あり
- ・派遣規模(12:30時点)
人員: 約120名、車両: 約40両、航空機: 32機
- ・14:07 防衛副大臣八戸基地着

(3) 国土交通省

- ・0:26 災害対策本部設置
- ・0:26 東北地方整備局、運輸局非常体制
- ・緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)派遣(計16班 58名)
国土交通省本省、東北地方整備局、北陸地方整備局、気象庁
- ・防災ヘリ3機が状況調査中

(4) 海上保安庁

- ・0:30 地震災害対策本部設置
- ・航空機による沿岸部被害状況調査

新潟～福島の調査終了。秋田～竜飛崎及び岩手沖は天候不良につき一部確認できず。
現在まで異常なし。

・巡視船艇による沿岸部被害状況調査

主要港湾施設等及び新潟～仙台に至る殆んどの沿岸域の調査終了。残る秋田～陸奥湾については引き続き調査を実施中。

(5) 消防庁

- ・ 0：26 災害対策本部設置
- ・ 0：52 消防庁長官から緊急消防援助隊の出動要請
- ・ 1：25 消防庁職員2名を岩手県に派遣
- ・ 2：04 消防庁職員2名を岩手県に派遣
- ・ 12：50 緊急消防援助隊出動状況（計102隊、403名）
- ・ 出動中人員：1792名（緊消隊含む）

(6) 厚労省

- ・ 0：38 各都道府県、災害拠点病院、全国のDMA等に待機要請
- ・ 0：50 災害対策本部設置
- ・ 6：54 10都県から計20チームを派遣
- ・ 9：54 16チームが現状把握と待機、4チームが撤収開始。

(7) 経産省

- ・ 0：40 防災連絡会議設置（原子力安全・保安院、緊急参集）

(8) 気象庁

- ・ 0：26 非常体制
- ・ 航空気象業務の臨時提供の実施
- ・ 大雨警報の発表基準の暫定運用を実施予定